

四国産学官連携イノベーション共同推進機構のご紹介

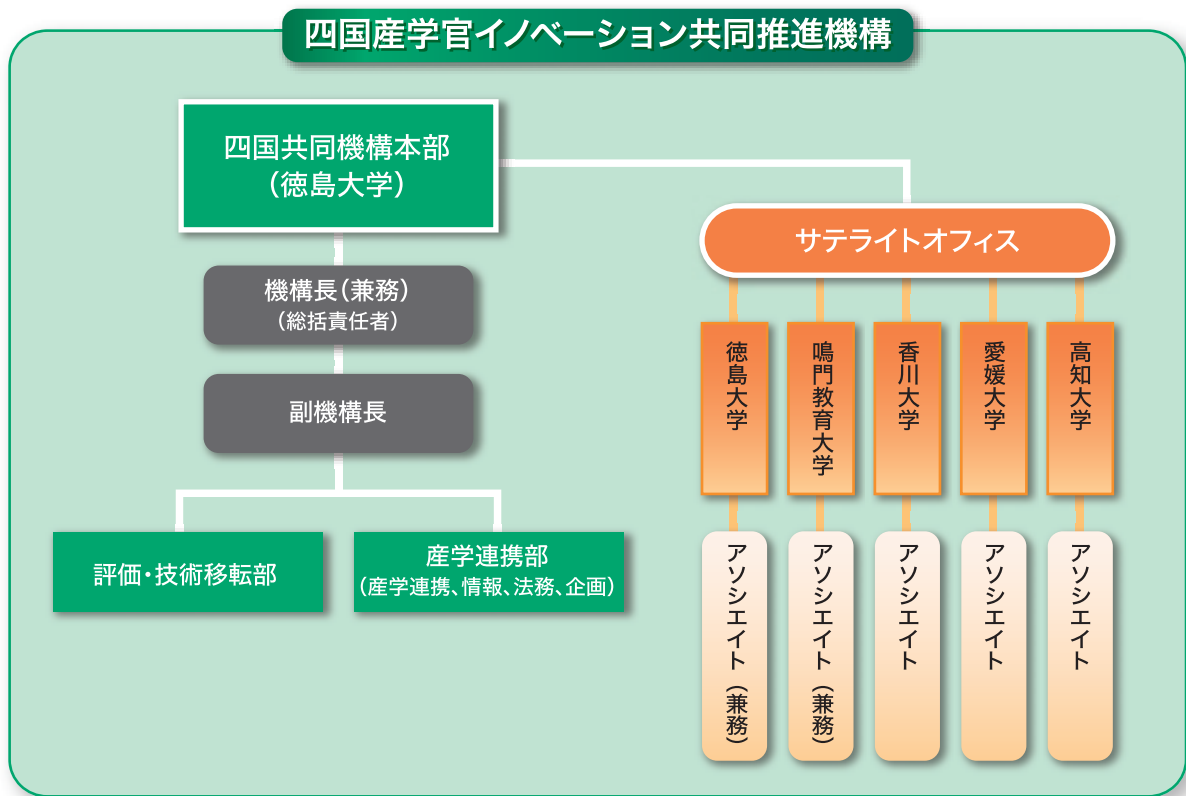
徳島大学産学官連携推進部
四国産学官連携イノベーション共同推進機構

教授(副部長)
副機構長
織田 聡



四国産学官連携イノベーション共同推進機構(以下「四国共同機構」という。)は、四国の国立5大学(徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学)の産学連携部門における共通業務の統一化・一元化を図り、産学連携部門運営の効率化および高度化を図り、知の集積、国内外の大学と社会の設定、イノベーション創出の拠点となる事業であり、四国共同機構本部は徳島大学に設置され、機構長に野地理事、副機構長に織田が就任しました。さらに、2013年10月には産学連携活動で高い業績を挙げている坂井教授と荒木准教授の2名を新しいメンバーに迎えることができました。また、各大学に配置して機構本部との連携を担当するアソシエイトも決まり、徳島大学では井内助教が2013年11月に着任しました。このように優秀で強力なメンバーの配置が完了し、四国共同機構の本格的な業務の稼働が進んでいます。

四国産学官連携イノベーション共同推進機構 組織図



本事業によって四国地域の産学連携・技術移転の統合・一元化を図ることは、四国の産学連携・技術移転にとって最大のチャンスです。他地域に先んじて四国地域が産学連携・技術移転業務の統合・一元化に成功し、海外企業への技術移転の積極的展開など、特色ある産学連携・技術移転を実施すれば、四国共同機構は日本を代表する産学連携・技術移転組織となる可能性があります。今後の四国共同機構の活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。